

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き



中央区まちかど展示館

2024 Summer
Vol.16
銀座・京橋編 Part.4
TAKE FREE



銀座・京橋

【特集】
川と橋の面影を訪ねて

さまざまな文化と芸術が息づくまち

川があった時代を越えて今へ
まちかど展示館訪問
展示館おすすめのちよと通なスポット揃い！
銀座・京橋エリアMAP
Part.4
【連載】
中央区の食とアートを知る
食の痕跡、絵画の道楽



中央区まちかど展示館公式SNS



ホームページURL

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

季刊誌 中央区まちかど展示館 Information

既刊Vol.01～Vol.15もダウンロードできます



- Vol.01 日本橋編
- Vol.02 銀座・京橋 / 月島編
- Vol.03 総集編
- Vol.04 月島編
- Vol.05 日本橋編 Part.1
- Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
- Vol.07 日本橋編 Part.2
- Vol.08 日本橋編 Part.3
- Vol.09 銀座・京橋編 Part.2
- Vol.10 日本橋編 Part.4
- Vol.11 月島編 Part.2
- Vol.12 日本橋編 Part.5
- Vol.13 銀座・京橋編 Part.3
- Vol.14 日本橋編 Part.6
- Vol.15 日本橋編 Part.7

中央区まちかど展示館ウェブサイト 季刊誌ダウンロードページ

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.17は日本橋編です。江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに!

◎発行日:2024年7月12日

◎発行:中央区まちかど展示館運営協議会(中央区区民部文化・生涯学習課内) tel: 03-3546-5346 mail: b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作:Asaba & Co ◎デザイン:AD-NA ◎撮影:kt-design ◎文:秋元祐子・沖山純久 ◎イラスト:堀口珠美

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
63円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。
当選された方には、下記住所に、票品を送付いたしますので、お間違いないようご記入ください。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎メールアドレス

◎職業

◎年齢

賑わう銀座エリア周辺にも、江戸く昭和には川が流れていました。

川と橋の面影を訪ねて

川と橋の跡地を巡って、

古の「水のまち」を思い描いてみませんか。

京橋川

江戸時代に造られた約06kmの人工の川で、京橋の名から京橋川と呼ぶように。外濠から東に流れ、楓川、三十間堀川、桜川と十字路のように合流していました。昭和三8〜40年に埋め立てられ、上には高速道路が。

1 白魚橋

開削当初は、楓川の弾正だんじんじょう橋、三十間堀川の真福寺へんぶんくじ橋と「コ」の字型を描き三ツ橋として名所の一つに。



白魚橋開通記念—架橋後新橋— 鴻池組(昭和6年)

昭和30年に開館
銀座の映画文化を
担った



銀座一丁目 テアトル東京前の電話ボックスと靴磨き
／京橋図書館撮影(昭和32年)



現在は埋め立てられた川



現在の白魚橋乗継所にその名を残すのみ。



近くにある自動電話交換発祥の地。



炭谷橋 / シビルエンドアーチテクチュア第10巻(昭和6年刊)

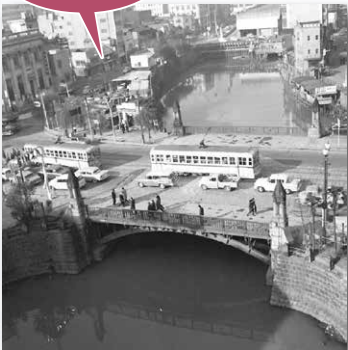


現在

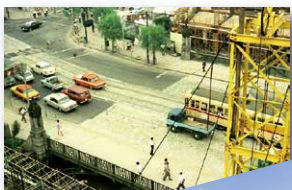
3 京橋

慶長年間の創架とされ東海道(中央通り)で京へ向かう最初の橋のためこの名に(諸説あり)。欄干に擬宝珠(きぼし)が飾られた格式高い橋で、竹河岸(たけがし)や大根河岸(おおいねがし)がありました。明治8年に石造アーチ橋になり、以降数回架け替え。今も、明治築之基と大正築一基の親柱が残ります。

かつては鉄道馬車が、撤去前には都電が走っていた



京橋と都電 / 中央区撮影(昭和38年)



京橋川埋立て工事 / 中央区撮影(昭和40年)

親柱3基は中央区民有形文化財



京橋親柱 / 平井勝夫撮影(平成12年)



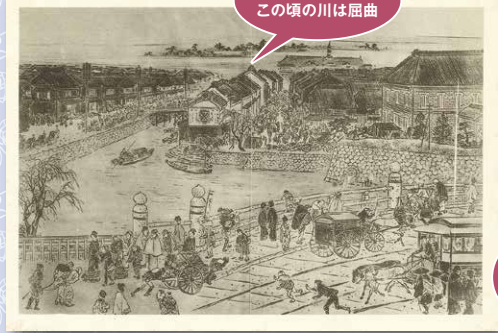
交番の隣にある明治築の親柱。

竹商人が多く江戸の名所に



名所江戸百景 京橋竹がし / 歌川広重(1856~1858年) / 画像提供 国立国会図書館

奥は隣の紺屋橋この頃の川は屈曲



京橋大根河岸の図 / 新撰東京名所図会(明治34年頃)



紺屋橋近くの幸(さいわい)稲荷神社。

- P2~6江戸地図: 復刻版 御江戸大絵図 原本刊行年: 天保14(1843)年 協力:ちちずライブラリ
- P2~6画像提供: 中央区立京橋図書館

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

三十間堀川

さんじゅけんぼり

江戸初期に江戸前島の海岸線を利用し、沖を埋め立てる形で造られた舟入堀。幅が30間(約55m)あり、舟運に活躍しました。江戸後期に幅は19間(約34m)に狭められ、明治36年、屈曲していた京橋川との合流点は真つづくに。戦後、瓦礫処理のため埋められ昭和27年に消失。



現在は埋め立てられた川

明治の煙草王、岩谷の工場看板で強力に宣伝!

6 朝日橋



三十間堀川 - 紀ノ国橋より水谷橋方面を望む - (昭和23年)

4 水谷橋

現在



近くには昭和初期建築のレトロな奥野ビル。保育園があるビルの屋上に水谷橋公園があります。

5 豊玉橋

現在



建築写真類聚 橋梁 巻二 - 豊玉橋 - (昭和2年刊)

7 三原橋

8 木挽橋

9 賑橋

江戸時代、三十間堀川の両岸には、西豊玉河岸と東豊玉河岸があり、荷揚げで賑わいました。江戸後期の削架とされる三原橋は、昭和初頭の震災復興橋梁が唯一埋め立て後も残り、平成26年の三原橋地下街の解体時まで存在しました。

戦後の露店整理のため川跡地に造られた銀座館マート



銀座マーケット - 三十間堀埋立地 - 京橋図書館撮影 (昭和31年)

10 出雲橋

現在



三十間堀川 - 八通八橋より出雲橋を望む - (昭和23年)

手前から三原橋、木挽橋、賑橋、出雲橋



三十間堀川 - 総合ビル屋上より木挽橋方面を望む - (昭和23年)



三原小路にあるあつま稲荷大明神。

橋桁の下に地下街が造られ映画館や飲食店があった



旧三原橋下映画館 - 銀座 - 平井勝夫撮影 (平成19年)



花橋通りに当たります。



日本之名勝 - 岩谷商会煙草製造工場 - (明治33年刊)



川沿いにあった朝日稲荷神社の遷拝所。本殿は大広朝日ビルの屋上にあり、土を詰めたパイプでつながっています。

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

汐留川

江戸時代に開削された堀で、海の埋め立てで造られた浜御殿の脇へ延長され、こう呼ぶように。埋め立てで昭和38年には浜離宮恩賜庭園の北西側を残すのみになりました。

11 新橋

日本橋と同時期に創架された、地名の由来の橋。近くの橋より新しいと新橋(あたらしはし)と呼ばれ、芝口御門が芝口橋となるも、後に新橋が正式名に。

銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

渡邊木版画展示館

月光往画材展示館

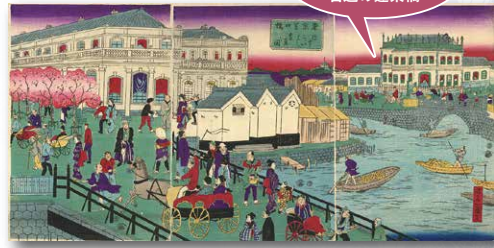


新橋 - 東京名所 絵はがき - (明治40年)

12 蓬莱橋

明治7年の架け替えて、後藤象二郎が興した蓬莱社が資金を出したためこの名に。

手前は新橋、遠景に蓬莱社の建物と石造の蓬莱橋



東京芝口橋ほうらいばし遠景之図 / 昇斎一景 (明治7年)

13 大手門橋(南門橋)

築地川にある浜離宮恩賜庭園へ続く橋。大正15年にできた震災復興橋が現存。



南門橋 - 浜離宮入口 - 平井勝夫撮影 (平成19年)

コラム

町名の移り変わり

江戸最後(慶応3年)から、大正の関東大震災後を経て、現在までの名前の変遷をご紹介します!

- 京橋 ← 京橋・宝町 ← 北横町・南横町・南伝馬町・大銀町・本材木町・桶町・南鍛冶町・因幡町・北紺屋町・畳町・具足町・柳町・炭町ほか
- 銀座 ← 銀座・銀座西・木挽町 ← 南紺屋町・木挽町・弓町・西紺屋町・新肴町・鎗屋町・三十間堀・元寄寄屋町・南鍋町・山下町・尾張町・加賀町・出雲町ほか

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

まちかど展示館訪問

江戸ほうき展示館

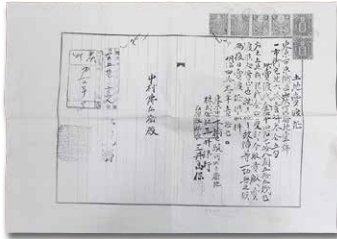
省エネ時代に再び脚光を浴びる江戸ほうきの魅力を伝え続ける。



京橋川に架かる炭谷橋にて。先代店主、梅吉氏3、4歳。ほうき職人手製の「ザル神輿」を担ぎ祭衣装で、昭和9年(1934年)ごろ。



兵隊姿の梅吉氏。炭谷橋の鉄製の欄干がよくわかる写真。



明治43年(1910年)に発行された土地売渡証(写し)。京橋3丁目は昭和6年(1931年)まで京橋区炭町と称していました。



江戸時代から竹間屋で賑わう京橋と竹河岸の様子。※江戸土産 - 京橋竹川岸上 / 安藤 広重(1代目)



豚毛ブラシは洗いつらい細身の容器洗浄などに便利です。

肩払い小ほうきは、肩や裾など、服の埃を払うのに向いています。



京橋を愛し、竹河岸を描いた安藤広重も近くに住んでいたんです。

お話を伺った方
代表取締役
中村 悟さん

江戸ほうき展示館

管理者:株式会社白木屋中村兵衛商店
● 東京都中央区京橋3-9-8 白伝ビル1F ☎ 03-3563-1771
● 月~土曜日・祝日(年末年始等を除く) ①10:00~19:00
● 宝町駅A3番出口 徒歩1分 ● 京橋駅2番出口 徒歩2分

「京橋川とほうきづくりとの繋がり」は? 天保元年(1830年)創業の当社が京橋に移転してきたのは、明治43年(1910年)です。京橋川沿いのこの地区は、「竹河岸」と呼ばれた竹の集積地でした。竹は、ほうきづくりには欠かせませんが、原料である笹草の運送も水運を利用できたので、この地が選ばれたのでしょう。私には京橋川の記憶はありません。私がよく覚えているのは、川が埋め立てられ東京高速道路が開通してからです。この自動車道は首都高の支線みたいなもので、開通当時はとても空いていました。近くには新京橋の出口がありますが、そのスロープで大雪が降った時にスキーをして遊んだ思い出があります。

「江戸ほうきの特徴を教えてください。」 「江戸箒」は当社の登録商標ですが、江戸後期に畳が普及し、箒草のほうきも発展しました。電氣を使わず、騒音、排気もない。アタッチメントも不要。しかも100パーセント手づくりのエコな道具として再注目されています。フローリングでも絨毯でも掃き出せるホウキ草の穂先の弾力の良さをぜひ、試していただきたいです。商品も、肩払いのブルームやミニほうきなど、小さくて便利なほうきを豊富に揃えていますので、お気軽にご来店ください。



浮世絵や新版画から現代作家の作品まで、版画で埋め尽くされた渡邊木版美術画舗の店内は見飽きることがありません。



「THE 新版画」展に出品された作品のポストカード。

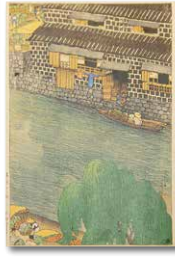
川瀬巴水が描いた中央区の川。

「東京二十景」の一作。京橋川の「大根河岸の朝」。



中央通りと昭和通りの間に在った三十間堀川を描いた「三十間堀の暮雪」。

「東京十二題」で描いた「大根がし」。



汐留川から城のような映画館「銀座全線座」を臨む。

※銀座八丁目/昭和40(1965)年

まちかど展示館訪問
わたなべもくはんがてんじかん
渡邊木版画展示館
世界の著名人も愛蔵する「新版画」の美しさを発信し続ける版元。



当店横の路地は、隠れた名所「出世街道」の出発点なんです。



お話を伺った方
3代目社長
渡邊 章一郎さん

渡邊木版画展示館

管理者:株式会社 渡邊木版美術画舗

- 東京都中央区銀座8-6-19 ☎ 03-3571-4684
- 月~土曜日(年末年始等を除く)
- ◎ 月~土曜日/11:00~18:30 祝日/11:00~17:00
- ◎ JR ● 新橋駅3番出口 徒歩4分 ● 銀座駅B3番出口 徒歩8分

「THE 新版画展が各地で開かれましたが、この展覧会は副題として「版元・渡邊庄三郎の挑戦」と、私の祖父の名がつけられ、2026年まで巡回します。私も講演で各地を回っていますが、反響も大きく、お陰で来客も増えています。ただ今は、紙不足で供給が追いついていません。版画には越前奉書紙を使いますが、原料のコウゾとミツマタ、それ以上に人手も不足しているのです。新版画といえば川瀬巴水が人気作家のひとつですが、京橋川や日本橋など、中央区の川の作品を何点も残しています。



季節に合わせた表装作品が展示されています。



遺骨や遺灰の一部を納めることができるペンダント。

線香はこれまでより短いもの、香りも少ないものが普及してきました。



お話を伺った方
8代目当主
安田 元慶さん

仏壇・仏具の歴史館

管理者:株式会社 安田松慶堂

- 東京都中央区銀座7-14-3 ☎ 03-3542-5771
- ◎ 年末年始等を除く毎日 ☎ 10:00~18:00
- ◎ 東銀座駅4番出口 徒歩3分 ● 銀座駅A3番出口 徒歩8分 ● 築地市場駅A3出口 徒歩4分

「川について何か思い出はありますか? 運河(汐留川)があったのは、微かに覚えています。まだ1、2歳の頃、祖父が押す乳母車に乗せられて運河沿いに土橋から新橋辺りを散歩した情景を、今もたまに夢に見ます。その時は不思議と音や匂いも蘇るんです。川は匂いが酷かったですが、埋め立て後は「匂わなくなったね」と話していました。川にはおでん屋を営む小舟が浮かんでいて、その後「銀座九丁目」という店名でギンザラインで数年前まで営業していました。当店のビルは昭和44年に建てられました。当時は、隅田川の花火がここからも見えまして、屋上の給水塔に登れば房総半島まで望めた時代でした。

「仏壇とはどのような存在でしょうか? お仏壇は本来、家の中にある小さなお寺のようなもので、仏像や仏具を飾り、須弥壇の中央にご本尊をお祀りするものです。仏壇の傍らにご先祖のお位牌を置き、供養するものなのですが、現代では亡くなった家族を供養するという意味合いの方が強くなっています。忙しい生活の中ですので、朝夕のお参りは大変なことです。朝は炊き立てのご飯をお供えして、仏様には温かい湯気を召し上がっていただき「行って参ります」とご挨拶を。夜は「ただいま戻りました」と手を合わせるというのが理想です。「チーン」という音特徴のリン(おりん)は、カラフルな色付きのものやモダンな形の品も増えてきました。実際に店内で叩いて、お好みの音色の品をお選びください。

「手元供養について教えてください。」
住環境の変化や核家族化で、お仏壇を置くスペース確保も困難な時代です。それでも、大切な人に手を合わせ、故人をいつも身近に感じていたいという思いに変わりはありません。そんな思いを叶えるのが手元供養で、自宅や身近なところに遺骨の二部を保管して供養するという方法です。ミニ骨壺やそれを祀る小さな飾り棚、遺骨、ペンダントなど多種多様なものが登場しています。



創業は寛政4年(1792年)の老舗。安田松慶堂は新橋演舞場のすぐ近くにありす。



東京都の伝統工芸「東京仏壇」の技で、モダンに仕上げた小振りな仏壇。



美しい色や柄のミニ骨壺の数々。モダンなデザインのリンも豊富です。



安田松慶堂オリジナルの短寸の線香。優しい香りと少ない煙が特徴です。

まちかど展示館訪問
ぶつだんぶつぐ
仏壇・仏具の歴史館
れきし
伝統の「東京仏壇」からペンダントまで多様な供養を提案する。





東京都の伝統工芸「江戸べっ甲」のかんざしが豊富に揃います。



彩り豊かな和装小物は、見るだけでも華やかな気分。



涼感たっぷりな透かしの入ったカワセミ柄の扇子。



日本のべっ甲細工発祥は長崎県の出島で、鎖国時代に主に外国人への土産物などを製作していた。



精緻な技と美しさは一見の価値あり。牛甲花嫁簪一揃え。

見番通りは昔、芸者さんに乗せた人力車が行き来していました。



お話を伺った方
3代目店主
柴田 光治さん

銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

管理者：株式会社 かなめ屋柴田

- ④ 東京都中央区銀座8-7-18 (見番通り) かなめ屋ビル1F
- ① 03-3571-1715 ② 月～土曜日 (祝日・年末年始等を除く)
- ① 平日 / 11:00～20:30 土曜 / 12:00～19:00
- ④ ② ③ 銀座駅B3番出口 徒歩5分 JR ⑤ ④ 新橋駅駅口 徒歩3分

「創業90年を迎えられたそうですね？」
当店は昭和9年(1934年)に日本橋で創業し、終戦後この銀座8丁目に移ってきました。この界隈は花街として栄えていました。今でも店の斜め前には新橋見番があり、ここからこの通りは見番通りと名付けられています。花柳界は、芸者さんと料亭、そして芸者さんが所属する置屋で構成され、それらを取りまとめているのが見番です。またこの見番では、芸者さんたちが日本舞踊や三味線、小唄などのお稽古もしています。近年、和装業界を取り巻く環境は益々厳しく、特にもつくりは危機的な状況。べっ甲をはじめ日本の大切な伝統工芸、文化を次世代へ継承するため日々精進しています。

「牛甲」について教えてください。
今シヨーカーズに展示しているのが、牛甲の花嫁簪一揃えです。今もべっ甲は高価ですが、昔もとても高価なもので庶民にはなかなか手の出せない贅沢品でした。そこで牛の爪(角ではなく爪)を用いて、一見べっ甲と見間違っ牛甲という技術が生まれ、べっ甲の代替品、廉価版として広く庶民の間で広まりました。しかしながら昭和に入りプラスチックの台頭によりその技術は途絶えました。そうした意味で、現存する牛甲製品は歴史的にも大変貴重なものといえるでしょう。

※臨時休館や開館時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

まちかど展示館訪問

銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

べっ甲かんざしなど伝統工芸品に注力する、銀座で唯一の和装小物店。



1966年来日のビートルズが、月光荘に来店。左端は筆を取るジョンとポール。その右が4人の合作で、世界で唯一の作品。



与謝野晶子の直筆文字が看板となっています。

月光荘の最新書籍。「エノグ屋の言葉集」(産業編集センター刊)



地下階奥の貸し画廊「画室」。小さくても個性を発揮すべく選考制を導入。

祖父の所蔵品を一室に会したイベントを企画したいです。



お話を伺った方
広報
後藤 麻衣子さん

お話を伺った方
月光荘主人
日比 康造さん

月光荘画材展示館

管理者：株式会社 月光荘画材店

- ④ 東京都中央区銀座8-7-2 永寿ビル1F、B1F
- ① 03-3572-5605 ② 年末年始等を除く毎日
- ① 月～金曜日 / 11:00～18:00 土・日曜日・祝日 / 10:00～17:00
- ④ JR ⑤ ④ 新橋駅3番出口 徒歩3分 ⑥ ④ 銀座駅A1番出口 徒歩8分



新商品のカラーコンテは、窓ガラスに自由に描けて簡単に消せます。右は人気のスケッチブック。

まちかど展示館訪問

月光荘画材展示館

オリジナル商品に拘り続ける老舗画材店に、息づく日本の美意識。



「地下スペース改装のきっかけは？」
パリで開催されたインテリアとデザインの見本市を視察した際、海外出店を考えたのですが、これからの時代は世界からこちらに来てもらうべきだと考え直しました。そして、西洋発祥の油絵の具をつくり続けている僕たちの美意識の根底にあるものかどうかをお見せしようと思ったのです。展示しているものは、月光荘の創業者で祖父の橋本兵蔵が親交のあった芸術家から譲り受けたものです。これまで人目に触れることなく眠っていた数々の名品から、研ぎ澄まされた日本人の美意識を感じ取っていただきたいのです。また、僕たちなりに拘った、展示方法や空間づくりも楽しんでいただけたらと思っています。

「画材以外の商品展開も魅力ですね。」
絵を描かない方々にも来店していただきたいので、画材以外の充実も図っています。衣類、雑貨、文房具など、どれも画材同様オリジナル商品です。ユーザーの裾野を広げることが、クオリティーの変わらない絵の具づくりを支えることに繋がります。また、「画室」と名付けた地下の貸し画廊は、受賞歴や出身校などに捉われない独自の選考基準を設けて、月光荘らしい個展を開催できるように改めました。

※臨時休館や開館時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

銀座・京橋エリア 散策MAP

今回は、京橋3丁目から銀座8丁目まで、
ちょっと通なスポットばかり。
賑わう銀座中央通りから離れてのんびり歩きましょう。



5 見番通り >> P15

江戸末期から続く新橋花柳界の事務所、「見番」があることから平成21年度に中央区の道路愛称に決定。時折聞える三味線の音に粋な文化が感じられます。



4 MAISON GEKKOSO >> P15

月光荘画材展示館の地下にこの4月にオープン。「現代の茶室」コンセプトとして、東西の文化が絶妙に調和するカフェ。奥には画室があります。



月光荘画材展示館
>> P10



渡邊木版画展示館
>> P9



6 出世街道 >> P15

見番通りと並木通りを結ぶ細い路地。江戸前寿司で有名な小笹寿しのほか、ヒストリヤ京風おでんの店、イタリアンバー等、路地裏の名店が並びます。

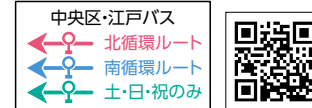


銀座かなめ屋
かんざし和装小物展示館
>> P11



7 ichi銀座店 >> P15

オリジナルの銀製品や革製品などの商品は、すべて伝統の職人技で手造りされたもの。打ち合わせから制作まで一人の職人が担当する結婚指輪も人気です。



江戸バスの情報はこちらから! ▲

1 京橋大根河岸 おもてなしの庭 >> P14

旧京橋川の橋詰広場跡にある小さな緑地。日本古来の茶花等を植えて東京を訪れる人々を迎えようと整備され、工事中には京橋川の護岸も発掘されました。



2 ヴァン・ゴッホ・ウォッカ銀座 >> P14

2 ヴァン・ゴッホ・ウォッカ銀座 >> P14

オランダ王室からロイヤルの称号を授かるヴァン・ゴッホウォッカの日本総輸入元による直営ショップ。さまざまなフレンドリーのウォッカが試飲できます。



3 万年堂本店 >> P14

元和3年(1617年)に京都で創業、明治5年に東京八重洲へ移転した歴史ある菓子舗。昭和初期より銀座に店舗を構え、2年前にオープンした今のお店は併設の喫茶も大好評。



おすすめ スポット

まちかど展示館の皆さんから
おすすめスポットをご紹介します！

銀座の裏通りを歩いて、
ディープな魅力を発見しよう！

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくは各店へお問い合わせください。



6 渡邊木版画展示館
渡邊さんおすすめ

出世街道

田中角栄氏にちなむ
出世街道で路地を満喫

渡邊木版画展示館の隣にある細い路地。角米氏が議員時代、ここを抜けて国会へ駆け付け総理大臣にまでなったこと、また国会まで道が真っすぐに続き、次第に広くなることからこう呼ばれるように。

- 住所 / 中央区銀座8-6

4 月光荘画材展示館
後藤さんおすすめ

MAISON GEKKOSO

アートや民藝家具の中、
ここだけの会話を楽しむ

月光荘の歴史が伝わるコバルトブルーの絵の具で塗られた空間。さりげなく置かれた民藝品を愛でながら、茶釜で沸かしたお湯で淹れたコーヒーや抹茶が楽しめます。夜間のバー営業については問い合わせを。

- 住所 / 中央区銀座8-7-2 永寿ビルB1F
- TEL / 03-3572-5605
- 営業時間 / (喫茶) 金土月 12:00~17:30 日 11:00~16:00 (Bar) 木金 20:00~24:00

2 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

ヴァン・ゴッホ・ウォッカ銀座

エスプレッソ、メロン...
飲み比べるのも楽しい！

130年以上蒸留酒を造り続け、五つ星評価を受けるヴァン・ゴッホ・ウォッカ。店内にはクラフトウォッカが20種類揃い、親切な説明を聞きながら試飲して選べます。フレンドリーな飲み方もお好みで！

- 住所 / 中央区銀座2-9-16 1F
- TEL / 03-6659-9888
- 営業時間 / 月~土 11:00~19:00 日祝 10:00~18:00
- 無休

7 仏壇・仏具の歴史館
安田さんおすすめ

ichi銀座店

日本の美意識を大切に
職人が販売もするお店

25年前前に愛知県一宮市の工房からスタート。今も店の奥で職人が手造りするアクセサリやバッグ類が、手仕事を愛する多くの人を惹きつけます。基本は受注生産で、細かな要望にも対応してくれます。

- 住所 / 中央区銀座8-12-15 1F
- TEL / 03-6228-4229
- 営業時間 / 平日 12:00~20:00 土日 11:00~20:00 12月31日~1月2日を除き営業

5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
柴田さんおすすめ

けんぱん 見番通り

新橋芸者の本拠地から
名付けられた通り

花柳界は、芸者・芸者が所属する置屋、料亭から成り、その連絡事務所が見番です。花椿通り沿いにある新橋会館には東京新橋組合があり、今も「芸の新橋」と言われる芸者衆が芸を磨いているのです。

- 住所 / 中央区銀座8-6~7

3 中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

萬年堂本店

進物の定番、御目出糖は
元禄時代から家伝の味

小豆餡や米粉を蒸した「御目出糖」、本わらび餅「喜のつゆ」等で知られ、こだわりの伝統製法や十勝産小豆の濃い風味に、遠くからもファンが訪れる名店。和風喫茶では看板メニューのほか夏はかき氷も。

- 住所 / 中央区銀座7-13-21
- TEL / 03-6264-2660
- 営業時間 / 11:00~18:00 (喫茶 11:00~18:00)
- 無休

1 江戸ほうき展示館
中村さんおすすめ

京橋大根河岸おもてなしの庭

ちよつとひと休みに、
大根河岸跡の憩いの場

都市緑化機構等が主催する緑の環境デザイン賞「おもてなしの庭」大賞を受賞し、2017年に誕生。木陰やベンチ、京橋大根河岸青物市場跡の碑、江戸歌舞伎発祥の地の碑があり、ほっと息づける場所。

- 住所 / 中央区京橋3-4



時代と共に輝く銀座

すしに蕎麦、鰻に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、飴にあんみつ：中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、食の痕跡を追いかけ、絵画の道楽も満喫してみませんか。



①東京名所之内 銀座通煉瓦造馬車往復図 歌川広重(三代) 明治15年(1882)

- ①現在の銀座4丁目は銀座煉瓦街と呼ばれ、通りは車道と歩道に分かれ、松や桜が街路樹として植えられていた。桜は満開だ。
- ②路面電車や自動車も行き交う銀座は東京でも屈指の繁華街として成長していく。
- ③西洋風の建築やガス灯が聳え立ち、多くの人々が行き交い賑わう銀座。

画像提供:①東京都立図書館
②③中央区立京橋図書館



③カフェークロネ前の人出 昭和



②銀座二丁目付近 大正12(1923)年頃



人気メニュー「元祖ボークカツレツ」と「ハンバーグステーキ」。シンプルだけれどもしっかりとした味わいでライスとの相性も抜群。店内は昔ながらの変わらぬ味を求める常連客とガイドブックを手にやってくる外国からの旅行者とで賑わう。



昭和の香りを残す堂々とした店構え、落ち着いた店内。
煉瓦亭 東京都中央区銀座3丁目5-16 煉瓦亭ビル (P13マップ参照)



林 綾野 キュレーター、アートライター

美術館での展覧会企画、美術書の執筆などを手掛ける。著作「画家の食卓」「浮世絵に見る江戸の食卓」など。企画した展覧会「堀内誠一 絵の世界」が島根県立石見美術館で9月2日まで、「谷川俊太郎 絵本☆百貨展」が高松市美術館で9月16日まで開催中。

煉瓦を敷き詰めた新しい街

20人ほど人に乗せた車両を2頭の馬が引き、手前には洋服姿の男性に乗せた人力車が駆けています。ここは銀座4丁目。背景左側の建物は朝野新聞の社屋で、その隣は人力車製造工場。現在は和光、そして木村屋が並んでいる所です。《銀座通煉瓦造馬車往復図》を描いたのは明治時代、東京の様子を巧みに捉えた三代目広重。明治15年に新橋、日本橋間に開通した鉄道馬車が走る銀座の風景を描くこの絵には、煉瓦造りの建物、馬車、洋服を着た人など外国から流れ込んできた文明、様式、風俗の香りが漂います。画面の左右にすつと立つガス灯もまさしく文明開化の象徴のひとつ。明治7年に設置されて、銀座の街を明るく照らしました。

当時この辺りは「銀座煉瓦街」と呼ばれていました。明治5年に起きた銀座大火の後、街の不燃化を目指し、道路の幅を広げ、煉瓦を敷き、建物にも煉瓦を施したためそう呼ばれるようになったそうです。突如、東京に現れた西洋風の街並みに当時の人々は驚き、心ときめいたことでしょう。

明治28年、この地に西洋料理を出すレストラン「煉瓦亭」が開業します。初代亭主の木田元次郎はこれから人々の関心は新しいものに移っていくと考え、横浜で西洋料理を修行した人物。明治2年より外国人居留地があった築地に近い銀座は西洋料理店を開くにふさわしいと考えたのです。しかし明治32年に外国人居留地は撤廃。外国人の来客が望めなくなるのであれば、日本人に合うよう西洋料理をアレンジして出すことを思いつきます。カツレツやハンバーグ、パンの代わりにお皿にライスを盛るなど、「洋食」という新しいスタイルの料理は評判を呼び、多くの人々に愛されるようになったのです。

煉瓦亭は、その後銀座の区画整備や戦災のため移転を余儀なくされますが、代々営業を続けます。現在の建物になったのは1964年。4代目の亭主、木田浩朗さんは銀座の地で曾祖父が始めた洋食というスタイルを守り続けてきました。文明開化という歴史的な渦の中、ガス灯の設置、鉄道の開通、外国人が行き交う街として様変わりを続けてきた銀座。現在はインパウンドの旅行者でひしめき合います。「外から来る人も受け入れながら、昔ながらのものを大切にしていきたい」と木田さん。銀座はこの浮世絵に描かれるように、時代の波を受けながらその姿を巧みに変えてきました。そこにはこの地に生きる人たちの時代を掴む機知と努力があったことは言うまでもありません。

日本橋エリア

13 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 / 8:00~20:00(店舗は月~金曜日 / 10:00~18:00(土曜日は17:00まで) / 祝日・年末年始等を除く)



14 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 / 03-3546-5346(中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00) / 年末年始等を除く毎日 / 9:00~20:00



15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~17:00



16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 田源ビル / 03-3661-9351
年末年始等を除く毎日(不定休あり) / 10:00~17:30



17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 11:00~16:00
※要予約。展示の見学は予約不要。



18 つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00~17:00
※つづら制作のため入店できない場合があります。



19 三勝ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3662-3860(平日11:00~16:00)
月、火、木~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 14:00~16:00
※1週間前までに要予約。見学は1時間以内。



20 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-5962-3137(平日 月~金曜日 9:00~12:00)
通年 / 8:00~18:00



21 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00(土曜日のみ17:00まで)



22 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00



23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日7:30~19:30 土曜日7:30~13:30



24 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00~18:30(土・日は17:30まで)



25 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00~19:00)
通年 / 8:30~20:00

月島エリア

26 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 / 03-3546-5346(中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00)
通年 / 常時開館

27 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) / 10:00~12:00、13:00~17:00(入館は16:30まで)



28 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 / 03-3546-5346(中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)9:00~17:00)
土・日曜日 / 10:00~16:00

29 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 / 03-6204-2466(11:00~16:00)
通年 / 常時開館

まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様幅広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

1 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 白伝ビル1F / 03-3563-1771
月~土曜日・祝日(年末年始等を除く) / 10:00~19:00



2 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始等を除く毎日 / 10:00~18:00



3 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月~土曜日(年末年始等を除く) / 月~土11:00~18:30 祝日11:00~17:00



4 月光荘画材展示館

東京都中央区銀座8-7-2 永寿ビル1F、B1F / 03-3572-5605
年末年始等を除く毎日 / 月~金曜日11:00~18:00 土・日曜日・祝日10:00~17:00



5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18(見番通り)かなめビル1F / 03-3571-1715
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日11:00~20:30 土曜日12:00~19:00



6 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~17:00



7 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 ミズノプリテック株式会社6F / 03-3551-7595
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 / 10:00~12:00、13:00~16:00



8 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月~金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日・5月1日、11月22日、春期および夏期整理期間を除く) / 10:00~17:00



9 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月~土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 9:00~17:00



日本橋エリア

10 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月~土曜日(祝日を除く) / 月~金10:00~17:00 土12:00~17:00



11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火~日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く)※要予約 / 10:00~17:30



12 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月~土曜日(年末年始等を除く) / 10:00~18:00

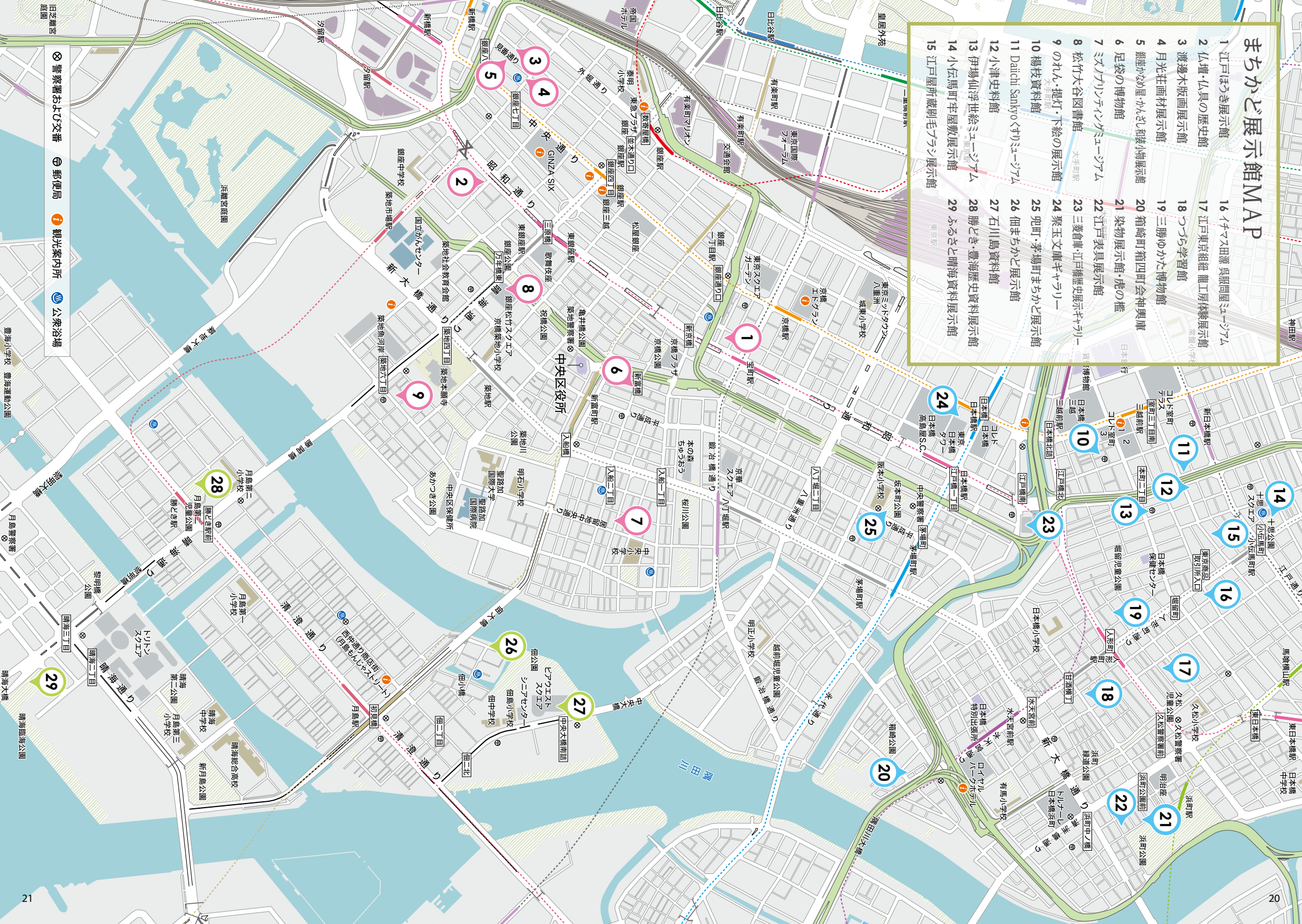


※臨時休館や開館時間を変更している場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

- 1 江戸ぼうき展 歴史館
- 2 仏壇・仏具の歴史館
- 3 渡邊木版画展示館
- 4 月光荘画材展示館
- 5 銀座かんざし屋かんざし和装・着物展示館
- 6 足袋の博物館
- 7 ミスプリアテナブコムニージャム
- 8 松竹大谷図書館
- 9 のれん・提灯・下駄の展示館
- 10 楠枝資料館
- 11 Daichi Sankyoベトナムミュージアム
- 12 小津史料館
- 13 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 14 小伝馬町年屋敷展示館
- 15 江戸屋新蔵刷毛ブラシ展示館
- 16 イチヤス田源 呉服問屋ミュージアム
- 17 江戸東京細盤 龍工房体験展示館
- 18 つつら学習館
- 19 三勝ゆかた博物館
- 20 箱崎町箱四町会神輿庫
- 21 染物展示館・虎の檻
- 22 江戸表具展示館
- 23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
- 24 聚玉文庫ギャラリー
- 25 兜町・茅場町まちかど展示館
- 26 佃まちかど展示館
- 27 石川島資料館
- 28 勝どき・豊海歴史資料展示館
- 29 ふるさと晴海資料展示館



⊗ 警察署および交番
 ⊕ 郵便局
 📍 観光案内所
 🛀 公衆浴場

アンケートにお答えいただいた方から

抽選で毎月5名様に まちかど展示館オリジナルグッズをプレゼント!

本誌のアンケートはがきまたはまちかど展示館ホームページにあるアンケートフォームでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)。当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様への諸連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内) TEL.03-3546-5346

5. 本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

4. 今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?

3. 訪れた展示館名を教えてください。

1. はい 2. いいえ

2. 本季刊誌のVol.1~15をご存知ですか?

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. まちかど展示館 | 2. まちかど展示館HP・SNS |
| 3. 観光情報センター | 4. 区施設 |
| 6. 駅ラック(駅) | 7. その他() |
| 5. 区内飲食店・商業施設等 | |

1. 本季刊誌をどこでお知りになりましたか?
またはどこでお手に取りましたか?

※複数回答可

中央区まちかど展示館

オリジナルスタンプラリー

「まちかど展示館パンフレット」P31~P34に掲載のオリジナルスタンプラリーに参加してみませんか。展示館内にスタンプを設置していない下記5館を除く24館のスタンプをすべて集めるとコンプリート特典をプレゼントしています。なお、プレゼントをお選びいただくことはできませんのでご了承ください。

■ご注意:

- 展示館内にスタンプを設置していない下記の5館については、中央区まちかど展示館協議会事務局(区役所8階 文化・生涯学習課)で押印します。
⑳箱崎町箱四町会神輿庫 ㉑兜町・茅場町まちかど展示館 ㉒佃まちかど展示館 ㉓勝どき・豊海歴史資料展示館 ㉔ふるさと晴海資料展示館
- 臨時休館や開館時間を変更している場合があります。
- プレゼントをお選びいただくことはできません。●当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- 今回の応募を利用された際の個人情報は、当イベント以外の目的で使用することはありません。

■応募方法:

●メールの場合 メールアドレス b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

スタンプシートのスタンプが全て写るように撮影し、メール本文にお名前、年齢、住所、電話番号、職業または学校名、メールアドレスを記載してください。

●持参する場合

下記応募先に押印済みのスタンプシートを持参してください。



福足袋
足袋の博物館



スケッチブック
月光荘画材展示館



小箒
江戸ぼうぎ展示館

※写真は特典の一部です。

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ <https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

■中央区まちかど展示館公式SNS @chuoku.machikadotenjikan

@chuokumachikado

machikadotenjikan

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ・応募先

中央区まちかど展示館運営協議会 中央区築地1-1-1 中央区役所8階
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)

